

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 6 年 3 月 13 日(2024.3.13)

【国際公開番号】WO2016/210075

【公表番号】特表 2018-518577(P2018-518577A)

【公表日】平成 30 年 7 月 12 日(2018.7.12)

【出願番号】特願 2017-565051(P2017-565051)

【国際特許分類】

C 08 F 10/02(2006.01)

10

【F I】

C 08 F 10/02

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 6 年 2 月 28 日(2024.2.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0019】

式中、R₈ は、独立して、H またはアルキルであり、X は、直鎖または分岐鎖である C₂ ~ C₂₀ アルキル鎖である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

式中、置換基及び指数は、以下の意味を有する。R¹ は、メチルもしくは水素であり、X¹ は、-O- もしくは -NH-、好ましくは、-O- であり、R² は、同一であっても、または異なってもよく、-CH₂-、-Si(CH₃)₂-、-CH₂-O-、もしくは -Si(CH₃)₂-O- であり、好ましくは、全ての R² は、-CH₂- であり、n は、1 ~ 32、さらに 1 ~ 22、さらに 1 ~ 12 であり、X² は、-C(O)-、-CHOH-、もしくは -CHSH-、好ましくは、-C(O)- であり、R³ は、アルキル（例えば、メチル）もしくは水素、特に水素であるか、または単位 -X²-R³ が -CH=CH₂ を表す。いくつかの特定の構造 a) ~ f) は、以下の通りである。

30

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

40

【0053】

一実施形態において、エチレン系ポリマーは、エチレン系ポリマーの総重量に基づき、(1) (A + (B * 密度 (g / cc)) + (C * log (MI) dg / 分)) (A = 250 . 5、もしくは 250 . 4、もしくは 250 . 3 重量 %、B = - 270 重量 % / (g / cc)、C = 0 . 25 重量 % / [log (dg / 分)]、または (2) 2 . 0 重量 %、のうちの低い方以下である、ヘキサン抽出物レベルを有する。一実施形態において、エチレン系ポリマーは、以下の方程式：G' = C + D [log (I₂)] (式中、C = 150 Pa、または 155 Pa、または 160 Pa、及び D = - 60 Pa / [log (dg / 分)]

50

）を満たす G' ($G'' = 500 \text{ Pa}$ 、 170 における) を有する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

一実施形態において、 Z_1 / Z_i 比 ($i = 3$ であり、 i は、最終反応ゾーンである) は、 1.3 、または 1.2 、または 1.1 である。一実施形態において、 Z_1 / Z_i 比 ($i = 3$ であり、 i は、最終反応ゾーンである) は、 0.1 、または 0.2 、または 0.3 以下である。一実施形態において、 Z_1 / Z_i は、 $(0.8 - 0.2 * \log(C_s))$ であり、式中、 C_s は、 $0.0001 \sim 10$ の範囲内である。一実施形態において、 Z_1 / Z_i は、 $(0.75 - 0.2 * \log(C_s))$ であり、式中、 C_s は、 $0.0001 \sim 10$ の範囲内である。一実施形態において、 Z_1 / Z_i は、 $(0.7 - 0.2 * \log(C_s))$ であり、式中、 C_s は、 $0.0001 \sim 10$ の範囲内である。一実施形態において、CTA系は、mCTAを含まない。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

本明細書で使用される場合、「アルキル」という用語は、飽和直鎖、環状鎖、または分岐鎖炭化水素基を指す。好適なアルキル基の非限定的な例としては、例えば、メチル、エチル、 n -プロピル、 i -プロピル、 n -ブチル、 t -ブチル、 i -ブチル (または 2-メチルプロピル) などが挙げられる。一実施形態において、アルキルは、 $1 \sim 20$ 個の炭素原子を有する。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0132

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0132】

G' 、密度、及びヘキササン抽出物を予測するための相関の導出：プロセスシミュレーションからの主要な出力に基づき、かつ測定されたポリマー特性に基づき、本明細書に定義される種類のポリマーに対して効果的な経験的モデルが得られる。市販のソフトウェア JMP (登録商標) PROバージョン 11.1.1 を使用して、線形回帰を有するモデルが得られる。密度は、以下の方程式でモデル化される。密度 $[g/cc] = 0.9498 - (0.000997 * SCB \text{ 頻度 } [1/1000C]) - (0.000529 * LCB \text{ 頻度 } [1/1000C]) + (0.002587 * \log MI [dg/分])$ 方程式 G。方程式 G によって計算される密度は、対応するポリマー試料中の実際の測定された密度を表す。試料 CE3 ~ CE17 に基づき、このモデルは、 0.959 の相関係数 R^2 を有する。予測された密度は、測定された密度が利用可能である試料を含む全ての試料に関して、表 8 に示される。 G' ($G'' = 500 \text{ Pa}$ 、 170°C における) は、以下の方程式でモデル化される。 G' ($G'' = 500 \text{ Pa}$ 、 170°C における) ($[Pa] = 10^{(1.9635 - (0.2670 * \log MI [dg/分]) + (0.07410 * LCB \text{ 頻度 } [1/1000C]) - (0.1639 * Z_1 / Z_i) + (1.347 * \text{シミュレーションされた H 分岐レベル } [1/1000C]) - (0.0224 * \log C_s))$ 方程式 H。方程式 H によって計算される G' 値は、対応するポリマー試料中の実際の測定された G' 値を表す。試料 CE3 ~ CE17 に基づき、このモデル (対数 G' 形態で) は、 0.950

63の相関係数 R^2 を有する。予測された G' ($G'' = 500\text{ Pa}$ 、 170 C における)は、測定された G' が利用可能である試料を含む全ての試料に関して、表8に示される。ヘキサン抽出物は、以下の方程式でモデル化される。ヘキサン抽出物[重量%] = $0.38 + (0.1488 * \text{最終反応ゾーン内の最大SCB頻度}[1/1000\text{ C}]) - (0.0503 * \text{最終反応ゾーン内の最小鎖セグメント長})$ (方程式I)。方程式Iによって計算されるヘキサン抽出物レベルは、対応するポリマー試料中の実際の測定されたヘキサンレベルを表す。試料CE3 ~ CE17に基づき、このモデルは、 0.862 の相関係数 R^2 を有する。予測されたヘキサン抽出物 - 測定されたヘキサン抽出物が利用可能である試料を含む全ての試料に関して、表9を参照されたい。モデルは、最終プロセスゾーン内のシミュレーション結果に基づく。各反応器ゾーン*i*に対する見掛けヘキサン抽出物は、同じ出力を有する同じ方程式を適用することによって提供されるが、ここでは、その同じ反応器ゾーン*i*内で選択される。見掛けヘキサン抽出物(ゾーン*k*) = $0.38 + (0.1488 * \text{反応ゾーン}k\text{内の最大SCBレベル}) - (0.0503 * \text{反応ゾーン}k\text{内の最小鎖セグメント長})$ (方程式J)。

10

20

30

40

50